

一 會社側

會社側ニ於テハ減給問題ハ圓滿解決セリトシ表面上何等ノ對策ナク一般社員ニ常態ニ復シテ執務中ニテ本月十七日工場長ノ名ヲ以テ一般従業員ニ對シ謝意ヲ表スル意味ノ回章セリ
(別記)

二 従業員側

従業員ハ本月十七日ヨリ非番員ノ會合ナク當務員ハ全員平常通作業ニ從事シ居レルカ尚硬派分子數名ハ更ニ歎願書ヲ提出スヘク策動シツ、アリ一方總同盟側ノ執務ナル組合擴大運動奏効セハ相呼應シテ策動ヲ開始スルヤモ團リ難キモ會社側ニ於テハ極メテ樂觀ノ態度ヲ持シ居レリ

三 無黨團體側

(1) 總同盟側ニ於テハ引續キ市外隅田町三二三薄井巳代吉方鐘紡減給反對應援事務所ヲ本據トシ本月十七日富田繁藏外數

名カ別添「非道」の贈送、取締に乘るなト願スル宣傳印
刷物ヲ社定附近ニ配布シ執務ニ組合加入ヲ勧誘シツ、アリ

(2) 社民黨系ヲ中心トスル鐘紡減給反對斗争同盟ニ入りテハ本月十七日夜菅下芝這新松町三一社民黨本部ニ島中雄三小池四郎末松克廣松岡駒吉外數十名會合シ
イ對鐘紡問題ニ関シ來ル二十一日ノ鐘紡デモ一際ニ全國的ニ動員スヘク指令ヲ發スルヲト

口鐘紡斗争團ハ戦斗基金ヲ送レト願スル(既報)基金募集
宣傳ビラ代ハ斗争同盟加盟ノ十三團體ノ平等負担トスル
コト等ヲ決議セリ

(3) 日本大衆黨系日本勞技會本部内鐘紡減給反對應援團本部ニ於テハ十八日午後六時ヨリ鐘紡純輝演說會開催ノ計畫ニテホスタール、貼付ヲ為シツ、アリ
右及申(通)報候也